

# なかよし2組 国語科学習指導案

日時 平成23年6月13日(月)  
第5校時  
場所 なかよし2組教室(1階)  
授業者 高橋 毅

- 1 単元名 ことばとなかよし (課題別学習)
- 2 教材名 A児…ひらがな・カタカナをおぼえよう  
B児…カタカナ・かん字をおぼえよう  
C児…カタカナ・かん字をおぼえよう

## 3 単元のねらい

### 【関心・意欲・態度】

- A児…活動の途中であきらめず、最後までやり遂げることができる。  
B児…自分の課題を一人で最後まで行うことができる。  
C児…自分の課題を一人で最後まで行うことができる。

### 【読むこと】

- A児…課題を言うことができる。  
カードを見て、物の名前を言うことができる。  
B児…課題を言うことができる。  
カタカナを読むことができる。  
C児…課題を言うことができる。  
カタカナと1年生で習う漢字を読むことができる。

### 【書くこと】

- A児…プリントの線やひらがな・カタカナをなぞることができる。  
B児…カタカナや1年生で習う漢字をプリントやノートに書くことができる。  
C児…カタカナや1年生で習う漢字をプリントやノートに書くことができる。

## 4 主な言語活動【内容(3)「読むこと」(4)「書くこと」の言語活動例：特別支援学校学習指導要領解説 総則等編より】

- A児** 1段階(4) いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ。  
2段階(4) 文字を書くことに興味をもつ。  
鉛筆の持ち方・書き順や書く姿勢などに気をつけながら、まるや線のなぞり書きを通して、書くことを十分楽しめるようにしたい。
- B児** 2段階(3) 文字などに関心をもち、読もうとする。  
3段階(4) 簡単な語句や短い文をカタカナで書く。  
単語は言えるが続けて話せないので、身近に用いる簡単な言葉を何度も繰り返すことで身に付けさせたい。
- C児** 2段階(3) 文字などに関心をもち、読もうとする。  
3段階(4) 簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。  
平仮名などとは、身近に用いる簡単な漢字なども示している。曜日に関心があり、何度も繰り返すことで身に付けさせたい。また絵本も好きなので漢字を習得して日常生活で目に触れるいろいろな字が読めるようにしたい。今は明日の予定は磁石のミニプレートを使っているので、後々は漢字を交えた予定帳が書けるようにしたい。

## 5 児童の実態

「なかよし2組」自閉症・情緒障がい学級は、現在2年の自閉症の女子A児と、3年の自閉症の男子B児と4年の自閉症の女子C児の3名である。3名の児童の障がいの特性は、次のようである。

- 【共通点】・人とのコミュニケーションが取りにくい。  
・初めてやることや新しい場所は苦手である。

- ・目から見た方が情報が入りやすい。
- ・パターン化されたことはよく理解していて、長期記憶につながる。
- ・見通しがもてると、根気よくできる。

- 【A児】
- ・平仮名 50 音はすべて読むことができる。
  - ・文字は書けないが、鉛筆を持ってなぞり書きはできる。
  - ・指示言語はだいたい分かる。
  - ・日常会話は何とかできる。
  - ・嫌だった時は、その場に応じた言葉ではないと言える。
  - ・サ行、タ行が不明瞭。

- 【B児】
- ・平仮名 50 音は書いたり読んだりできる。
  - ・片仮名 50 音は読めない文字がある。
  - ・まだ日常会話はできない。言葉が不明瞭である。
  - ・文字は 1 文字ずつ読む。
  - ・明るく人なつっこい性格である。教師や友だちの声かけに次第に応じるようになってきたが人の言うことを聞かず自分の思いで行動することも少なくない。
  - ・顔を見て挨拶できるようにもなってきた。
  - ・手先があまり器用ではなく細かい作業はやや苦手である。

- 【C児】
- ・自分の思いは、簡単な言葉で訴えることができる。
  - ・平仮名・片仮名 50 音は書いたり読んだりできる。
  - ・仲間との生活の中で「おはようございます。」「ありがとう。」など場に合った言葉が出るようになってきた。
  - ・新しいことに取り組むときなど変化に対して、混乱を起こすことが減少しつつある。
  - ・会話によるコミュニケーションはまだ十分にとれない。

## 6 研究テーマに関わって

一人一人の教育的ニーズに応じ、生きる力を確かに育てる指導・支援の在り方

2 年次は「生きる力」の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用をめざした授業の在り方を研究するため、その一つの方法として課題別学習を取り入れた。課題別学習を行うための学習環境の整備や、指導・支援の在り方を追究していきたい。

3 名ともに共通していることは、障害の特性から分かるように、認知障害がある。つまり、脳の機能障害から情報処理がうまくできないのである。

※認知とは……

環境からの多くの刺激を処理し、それに対応して行動していくための一連の情報処理の過程。特に知的障害のある自閉症の児童は、一つの刺激に過剰に反応したり、刺激の受け止め方が一様でなかったりして、対応が難しいことがある。認知の発達を促し高めていくことで、適応行動がスムーズにとれ、同時に対人関係の広がりや情緒面の安定を図ることができる。具体的な学習内容としては、感覚運動学習、弁別などの概念の学習、数概念の学習、文字・言葉の学習等が挙げられる。

そこで、混乱せず少しでも分かりやすくするために、次の 3 点を考えてきた。

### ① 環境の物理的構造化

活動と場所を一対一対応する。朝の会の場所、課題別学習の場所、作業する場所、遊ぶ場所……など、個別に配慮した。同一場所を多目的に使用する場合は、机やいすの配置を変えたり、パーティション（しきり）を用いたり、新たな意味を与えた。昨年度までは、3 名の間にしきりをしたりとか、形ばかりを大切にしていたが、構造化のアイデアが目的ではなく、「一人ひとりの必要とする支援」の一つとして、考えていくことが大切だと考えた。

### ② スケジュールの構造化

時間に意味を与えるために行う。毎日の生活に見通しがもてるようにした。日課や活動の見通しがもてるように視覚的な支援をした。帰りの会に毎日、C 児が個別の明日の予定を貼るようにした。予定は朝、知らせている。

### ③ 作業活動の構造化（ワークシステム）

学習する上で、今 3 名の子に必要なことは、個別化することであると考える。個がある

程度、確立し、それから、小集団でのコミュニケーション、社会的スキルなど学習させていけばよいと思う。そこで、何を、どのくらいやったら、終わるのか、次は何かを視覚的に提示する。課題や教材など実物を上から下へと順番に、提示し、終わったら、ケースを左から右へ移すことで、「できました。」となり、自分で変えるようにした。A児は2年生なのでまだ難しい。3年のB児も集中力に欠けるときは一つの課題が終わると、離席しては、積み木遊びを始めてしまう。4年のC児も調子がよいとき、気分がよいときは集中してできるようになってきた。全体としては、まだまだだが、個を受け止める土台をしっかりとしていきたい。教師とやる時には、評価し、次の授業に向け、課題を検討して、与え方などを改善することになっている。

### 《教材・指導・支援》

視覚からの情報を得やすいので、個に即した適切な教材を絵、写真で、手順を示したり、課題の遂行方法を図やイラスト、写真で示すことが多い。ワークシステムでは、一人でできる活動と、新しく学ぶ活動をバランスよくプログラムするようにしている。

今後は、新しい課題や苦手な課題については、まずできるような支援を用意し、少しずつ支援から外していくようにしたい。そして、やり遂げることで成功経験を重ね、自己肯定感や自尊感情を高めて、できるという自信をもたせたい。教師自身も「困った」「できない」という視点ではなく、「どうすればできるのか」という視点で考えるようにしてきた。

## 7 国語科の領域ごとの学習内容

題材	A児	B児	C児
聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を楽しんで聞く。</li> <li>「あいうえおのうた」のCDや教師の発音を聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を楽しんで聞く。</li> <li>「あいうえおのうた」のCDを指をたどって、聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を楽しんで聞く。</li> <li>「あいうえおのうた」のCDを指をたどって、聴く。</li> </ul>
話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードを見て、書いてある言葉を言う。</li> <li>カードを見て、知っているものを話す。</li> <li>簡単な感想を話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のカードを見て、カードに書いてある物の名前を教師のあとに言う。</li> <li>複数のカードを見て、知っているものを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードを見て、書いてある言葉を言う。</li> <li>カードを見て、知っているものを話す。</li> <li>簡単な感想を話す。</li> </ul>
読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の絵カードの中から、言われた物のカードをとる。</li> <li>絵カードを見て、同じカードのをマッチングさせる。</li> <li>自分の名前を読んで、同じ文字を見分けて積み木をカードの横などに並べる。</li> <li>シールを○の中に貼り、目と手の協応させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生で習う漢字を読む。</li> <li>平仮名・片仮名ともにまとまりで読み、単語として意味を理解できるよう文字読みに慣れる。</li> <li>ストーリーの登場人物などが分かる。</li> <li>易しい読み物を聞いて、内容のあらましが分かる。</li> <li>漢字の入った短文を指でたどって読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生で習う漢字を読む。</li> <li>平仮名・片仮名ともにまとまりで読み、単語として意味を理解できるよう文字読みに慣れる。</li> <li>ストーリーの登場人物などが分かる。</li> <li>易しい読み物を聞いて、内容のあらましが分かる。</li> <li>漢字の入った短文を指でたどって読む。</li> </ul>
書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぐるぐる書きをする。</li> <li>なぞって書く。まっすぐな線を書く。(直線の縦や横、波線など)くにかくにゃを書く。円やぐるぐるまるなどを書く。</li> <li>ひらがな・カタカナをなぞり書きする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやプリントに漢字を書く。</li> <li>ワークシートに漢字を練習をする。</li> <li>文章を視写する。</li> <li>漢字の使い方や書き方を覚える。</li> <li>文字の形に注意して書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやプリントに漢字を書く。</li> <li>ワークシートに漢字を練習をする。</li> <li>文章を視写する。</li> <li>漢字の使い方や書き方を覚える。</li> <li>文字の形に注意して書く。</li> </ul>

## 8 単元指導計画

時間	A児 学習活動	A児への 支援	B児 学習活動	B児への 支援	C児 学習活動	C児への 支援
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆を持ってぐるぐる書きをする。</li> <li>絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目からの視覚的な絵カード等を活用し、分かりやすい教材を使用する。</li> <li>教師が発声した同じ音声を声に出して読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目からの視覚的な文字やカードや絵などを活用し、分かりやすい教材を使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて、読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目からの視覚的な文字やカードや絵などを活用し、分かりやすい教材を使用する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆でなぞって、まっすぐな線を書く。</li> <li>絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。</li> <li>線をつなぐ。</li> <li>平仮名をなぞる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵カードが発音できにくかったら、リズムを感じ取らせる。</li> <li>同じ文字を見分けて、合わせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて、読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> <li>言われた物の名前を読んだり書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一文字ずつ読むように言う。</li> <li>発音できにくい片仮名は、教師の後について言うようにする。</li> <li>見通しがもてるように、今日やる課題を提示し、進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて、読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> <li>言われた物の名前を読んだり書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一文字ずつ読むように言う。</li> <li>発音できにくい片仮名は、教師の後について言うようにする。</li> <li>見通しがもてるように、今日やる課題を提示し、進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変えていく。</li> </ul>
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆でなぞって円など丸い線を書く。</li> <li>絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。</li> <li>平仮名をなぞる。</li> <li>片仮名をなぞる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しが持てるように順番を提示し、進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変える。</li> <li>児童が好み、発達段階に合った操作性の高い課題を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて、読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> <li>言われた物の名前を読んだり書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み・書きなど変化があるような学習課題にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を文字とマッチングさせて、読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> <li>言われた物の名前を読んだり書いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み・書きなど変化があるような学習課題にする。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆でなぞって線やまるなどを書く。</li> <li>絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。</li> <li>名前を並べる。</li> <li>平仮名をなぞる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み・書きなど変化があるような学習課題にする。</li> <li>ブレイクタイム(デザートの課題)にパズルを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて読む。</li> <li>漢字を文字とマッチングさせて読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に答え合わせするなどして、その都度確認する。</li> <li>できたら、認め励ます。そして、本時への意欲化をはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を文字とマッチングさせて読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に答え合わせするなどして、その都度確認する。</li> <li>できたら、認め励ます。そして、本時への意欲化をはかる。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆でなぞって線やまるなどを書く。</li> <li>絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。</li> <li>名前を並べる。</li> <li>平仮名をなぞる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブレイクタイム(デザートの課題)にパズルを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片仮名を文字とマッチングさせて読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> <li>漢字を文字とマッチングさせて読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つでも覚えさせたいので10くらいをめあすに最後までやらせる。ノートにも手本を見て書いて覚えるようにする。</li> <li>言葉かけのタイミング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を文字とマッチングさせて読む。</li> <li>ノートやプリント・ドリルを手本を見て書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つでも覚えさせたいので10くらいをめあすに最後までやらせる。ノートにも手本を見て書いて覚えるようにする。</li> <li>言葉かけのタイミング</li> </ul>

		を見計らう。 ・ブレイクタイム (デザート 的課題) にパ ズルを行う。		を見計らう。 ・ブレイクタイム (デザート 的課題) にパ ズルを行う。
--	--	---	--	---

### 9 本時のねらい

- A児のねらい…筆記用具を持って、書くことに興味をもたせる。  
身近な物の名前を言うことができる。
- B児のねらい…片仮名とその読み方を一致させ、片仮名の読みを練習し、手本を見て書くことができる。
- C児のねらい…かん字とその読み方を一致させ、かん字の読みを練習し、手本を見て書くことができる。

### 10 本時の評価規準

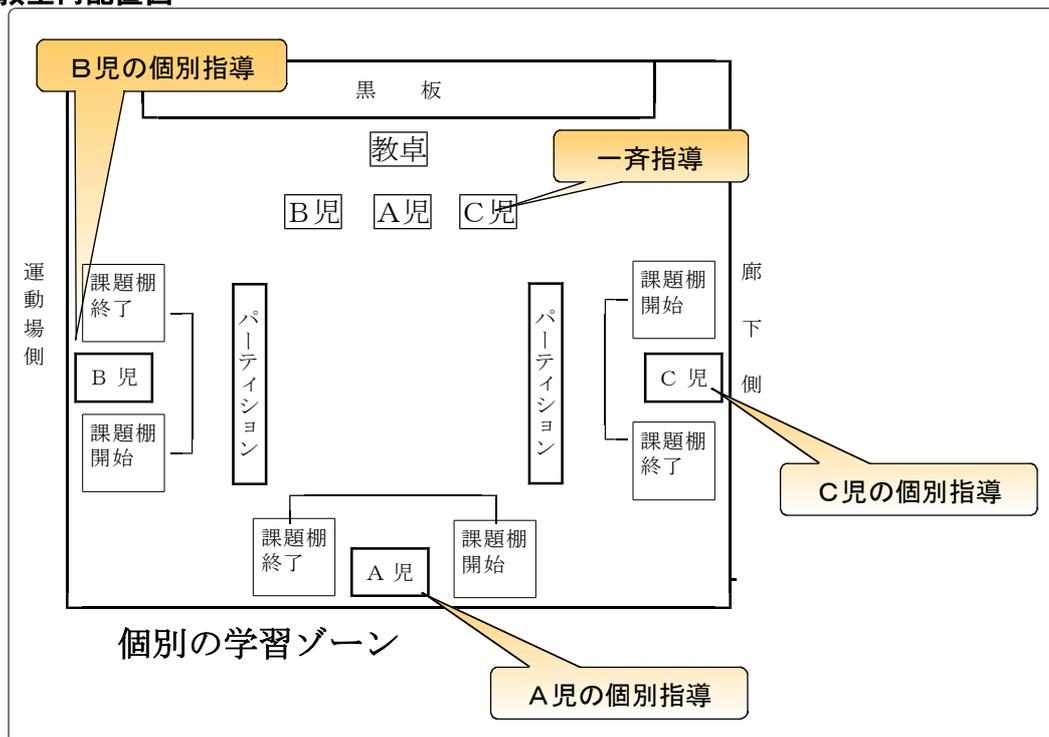
- A児の評価規準…筆記用具を持って、書くことに興味をもっている。  
身近な物の名前を言っている。
- B児の評価規準…片仮名とその読み方を一致させている。  
片仮名の読みを練習している。  
ノートやプリントに手本を見て書いている。
- C児の評価基準…かん字とその読み方を一致させている。  
かん字の読みを練習している。  
ノートやプリントに手本を見て書いている。

### 11 本時の展開 (3/5)

過程	A児 学 習 活 動	B児 学 習 活 動	C児 学 習 活 動
つかむ	1 学習の始めの挨拶をする。 2 学習課題を確認する。  ひらがなをおぼえよう。	1 学習の始めの挨拶をする。 2 学習課題を確認する。  カタカナをおぼえよう。	1 学習の始めの挨拶をする。 2 学習課題を確認する。  かん字をおぼえよう。
	支援1 教師の発音のあとに続いて 声に出して言うように言う。	支援1 課題を指でたどって自分 で声に出してはっきりと 言うように言う。	支援1 課題を指でたどって自分 で声に出してはっきりと 言うように言う。
深める	3 課題別に学習する。 <u>教師と学習</u>  ①絵カードの絵を見て、名前 を言う。  支援2 間違えた場合や困っている ときや言えないときは言って あげて、教師のあとに続い て言うように助言する。  ②絵カードで、もの名前をマ ッチングする。  支援3 同じカードになるよう導 いてやる。	3 課題別に学習する。 <u>一人で学習</u>  ①片仮名と文字をマッチングし て、片仮名を読む。  ②片仮名の絵カードを見て、名 前を言う。  ③プリントの片仮名を練習す る。  ④ノートの片仮名の練習をす る。 支援2 途中様子を見て、B児が 困っていたら助言し、最後 まで頑張るよう励ます。	3 課題別に学習する。 <u>一人で学習</u>  ①かん字と文字をマッチングし て、かん字を読む。  ②プリントのかん字を練習す る。  ③ドリルのかん字を練習する。  ④ノートのかん字の練習をす る。 支援2 途中様子を見て、C児が 困っていたら助言し、最後 まで頑張るよう励ます。
	<u>教師と学習</u>	<u>教師と学習</u>	<u>教師と学習</u>

深める	<p>③自分の名前を積み木の字とマッチングさせる。</p> <p>支援4 平仮名を一緒に読み。</p> <p>一人で学習</p> <p>④用意されたプリントの線を鉛筆でなぞる。</p> <p>⑤用意されたプリントのひらがなを線でなぞる。</p> <p>支援5 マーカーの上をきちんとなぞっているか確認する。</p> <p>ブレイクタイム(時間があつたら)</p> <p>⑥パズルをやる。</p>	<p>⑤マッチングなどの答え合わせをする。</p> <p>支援3 できたらおおいにほめる。</p> <p>⑥プリント、ノートの丸を打つ。</p> <p>支援4 答え合わせを一緒にして、誤りを直し、やり直すところはもう一度やるように言う。</p> <p>ブレイクタイム(時間があつたら)</p> <p>⑦パズルをやる。</p>	<p>⑤マッチングなどの答え合わせをする。</p> <p>支援3 できたらおおいにほめる。</p> <p>⑥プリント・ドリル、ノートの丸を打つ。</p> <p>支援4 答え合わせを一緒にして、誤りを直し、やり直すところはもう一度やるように言う。</p> <p>ブレイクタイム(時間があつたら)</p> <p>⑦パズルをやる。</p>
	まとめる	<p>4 個々に今日の学習を振り返る。 ・がんばったことなどを話す。</p> <p>支援6 がんばったことを認め励ます。</p> <p>5 個々に学習の終わりの挨拶をする。</p>	<p>4 個々に今日の学習を振り返る。 ・がんばったことなどを話す。</p> <p>支援5 がんばったことを認め励ます。</p> <p>5 個々に学習の終わりの挨拶をする。</p>

## 12 教室内配置図



### 《環境作り》

- ・学習に集中できるようにパーティション (ホワイトボード) でしきっている。